

第2次中野市総合計画（後期基本計画）の策定にかかるワークショップ

第1回開催時（6月24日）資料

データからみる
中野市の可能性

近年、中野市は「住みたい田舎」として評価が急上昇しています。
みなさんは、中野市の魅力はなんだと思いますか？

住みたい田舎ベストランキング

「田舎暮らしの本」(宝島社)より

2020年

総合部門
73位(初)

小さなまち (人口10万人未満)
総合部門

2021年

総合部門
28位

小さな市 (人口10万人未満)
総合部門

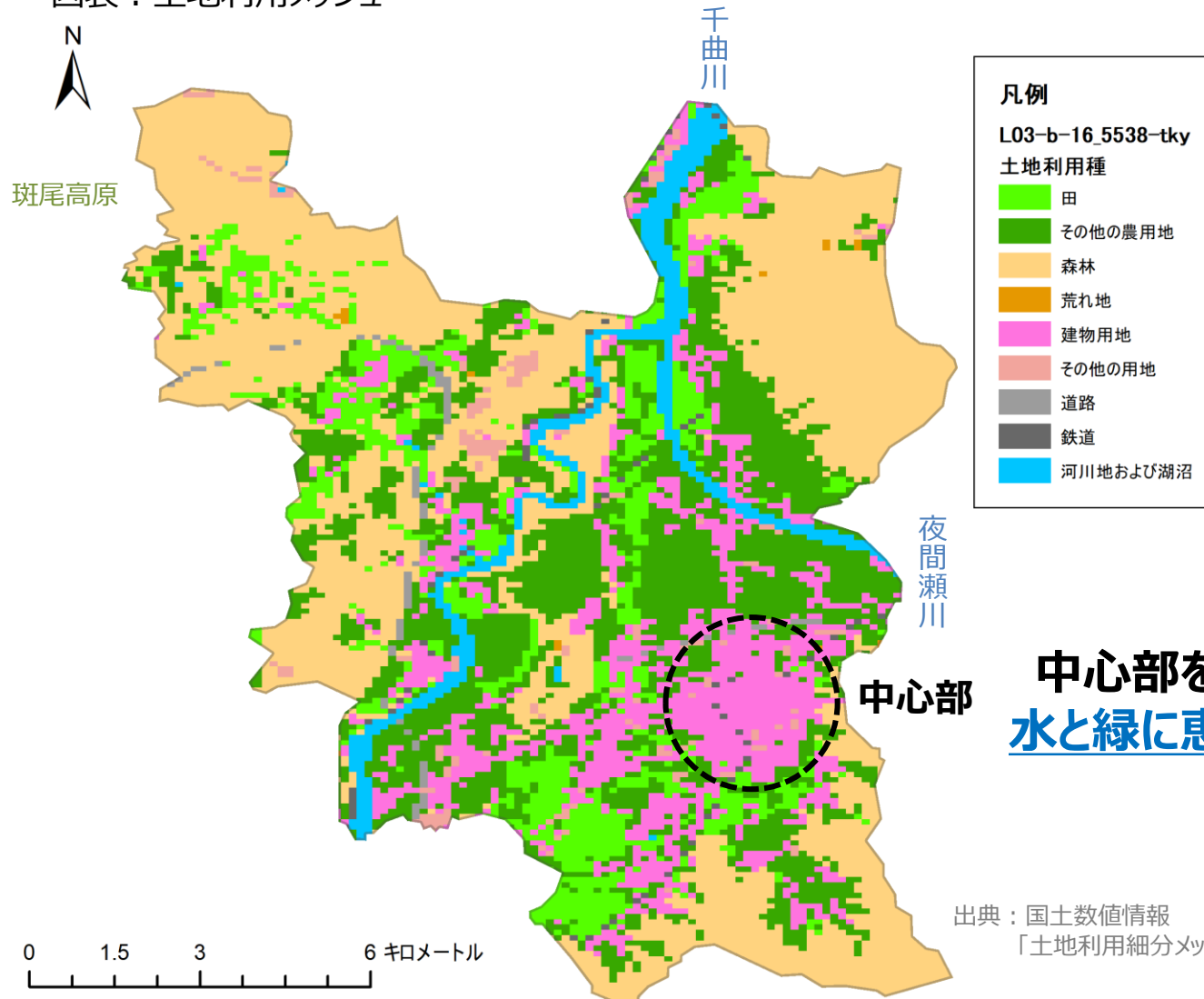


様々な視点がありますが、
ここでは、統計データから中野市の**魅力**を考えていきます



魅力① 水や緑などの自然に囲まれた住環境

図表：土地利用メッシュ

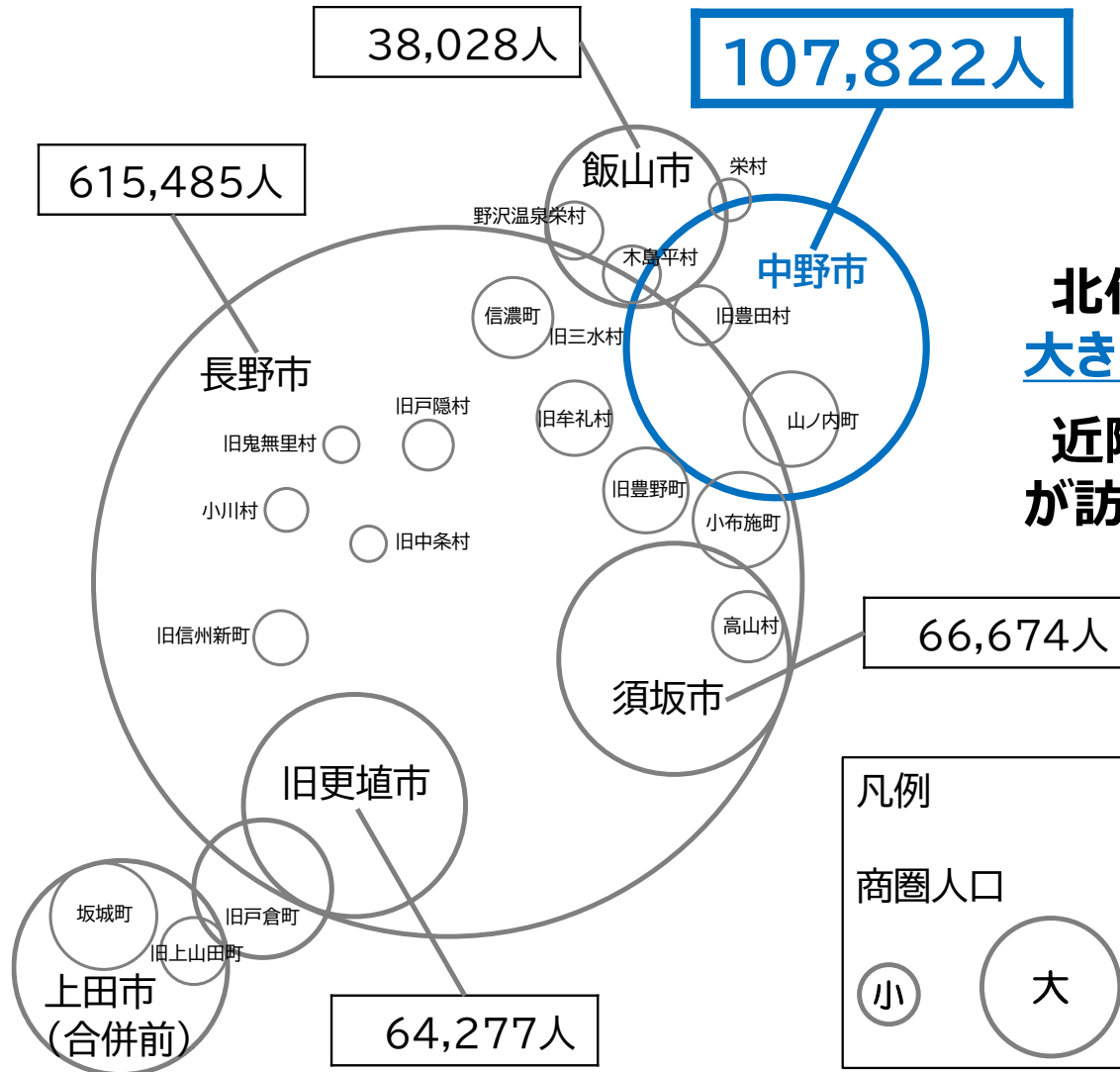


**中心部を取り囲むように農地があり、
水と緑に恵まれた生活環境があります。**

出典：国土数値情報
「土地利用細分メッシュ」(平成28年度)

潜在力② 北信地区2番目の商圈人口の大きさ

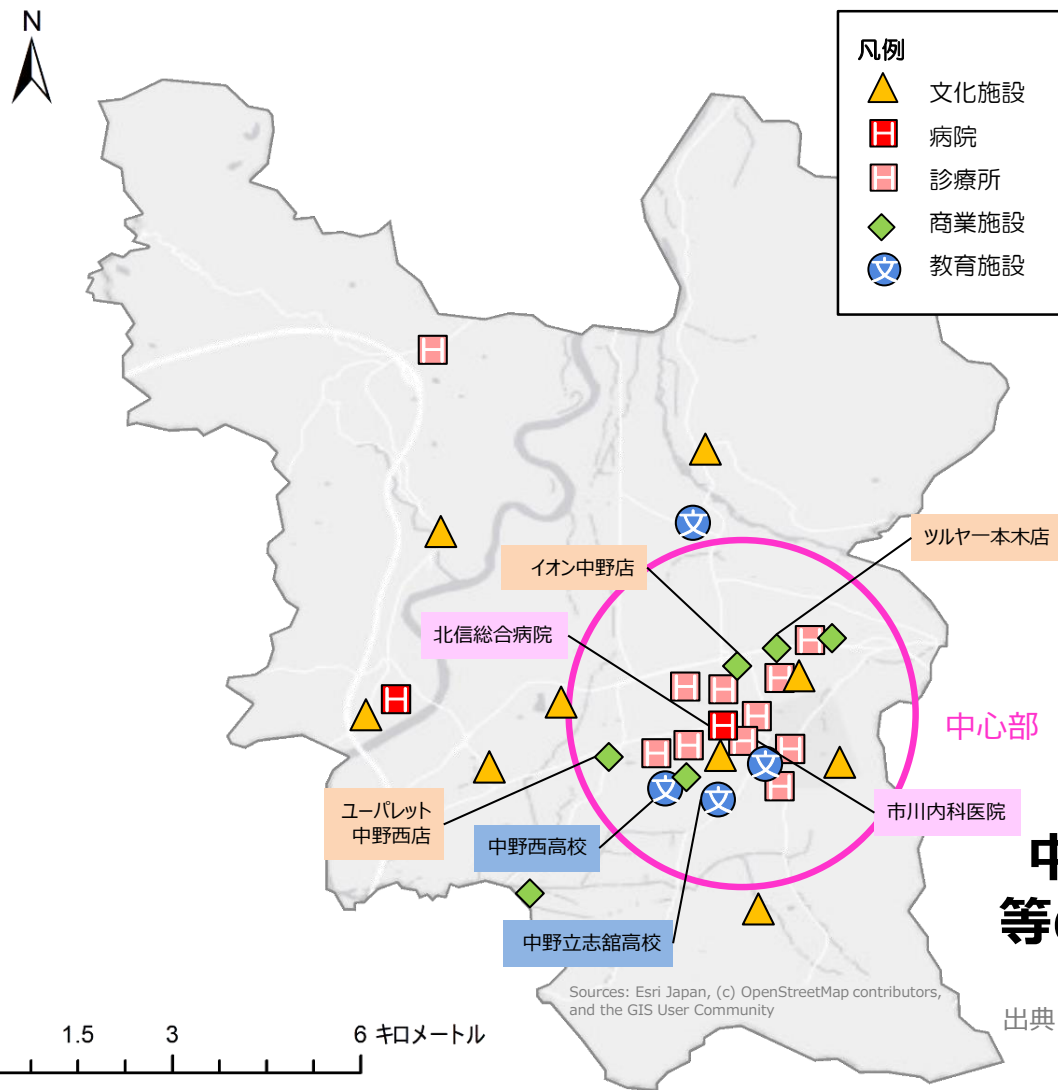
図表：北信地区の商圈構造（概念図）全品目平均



北信地区では長野市に次いで2番目に大きい商圈を持っています。

近隣自治体から、中野市内に買い物客が訪れます。

魅力③ 充実した生活のための都市機能



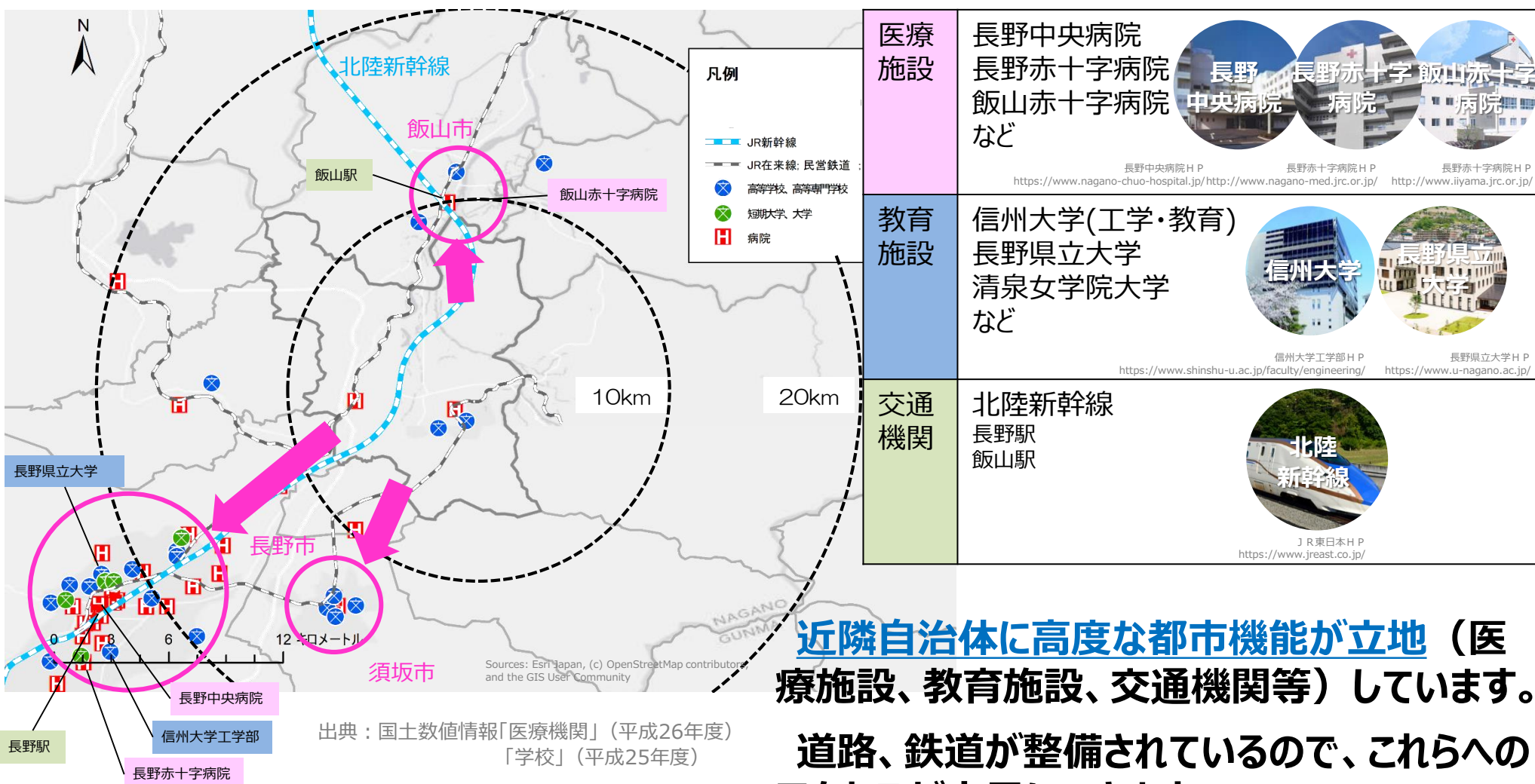
医療施設	北信総合病院 など	 J A長野厚生連 北信総合病院 H P https://www.hokushin-hosp.jp/
商業施設	イオン中野店 ツルヤ一本木店 ユーパレット中野西店 など	 イオン中野店  ツルヤ一本木店  ユーパレット中野西 株式会社ツルヤ H P https://www.tsuruya-corp.co.jp/ デリシアユーパレット H P https://www.delicia-web.co.jp/
教育施設	中野立志館高校 中野西高校 など	 中野立志館高校  中野西高校 中野立志館高校 H P https://www.nagano-c.ed.jp/rishikan/ 中野西高校 H P https://www.nagano-c.ed.jp/inuwashi/index.html

中心部には医療施設、商業施設、教育施設等の生活のための都市機能が集積しています。

出典：国土数値情報「医療機関」（平成26年度）
「学校」（平成25年度）

魅力③ 近隣自治体の高度な都市機能を活用できる

図表：施設立地（広域）



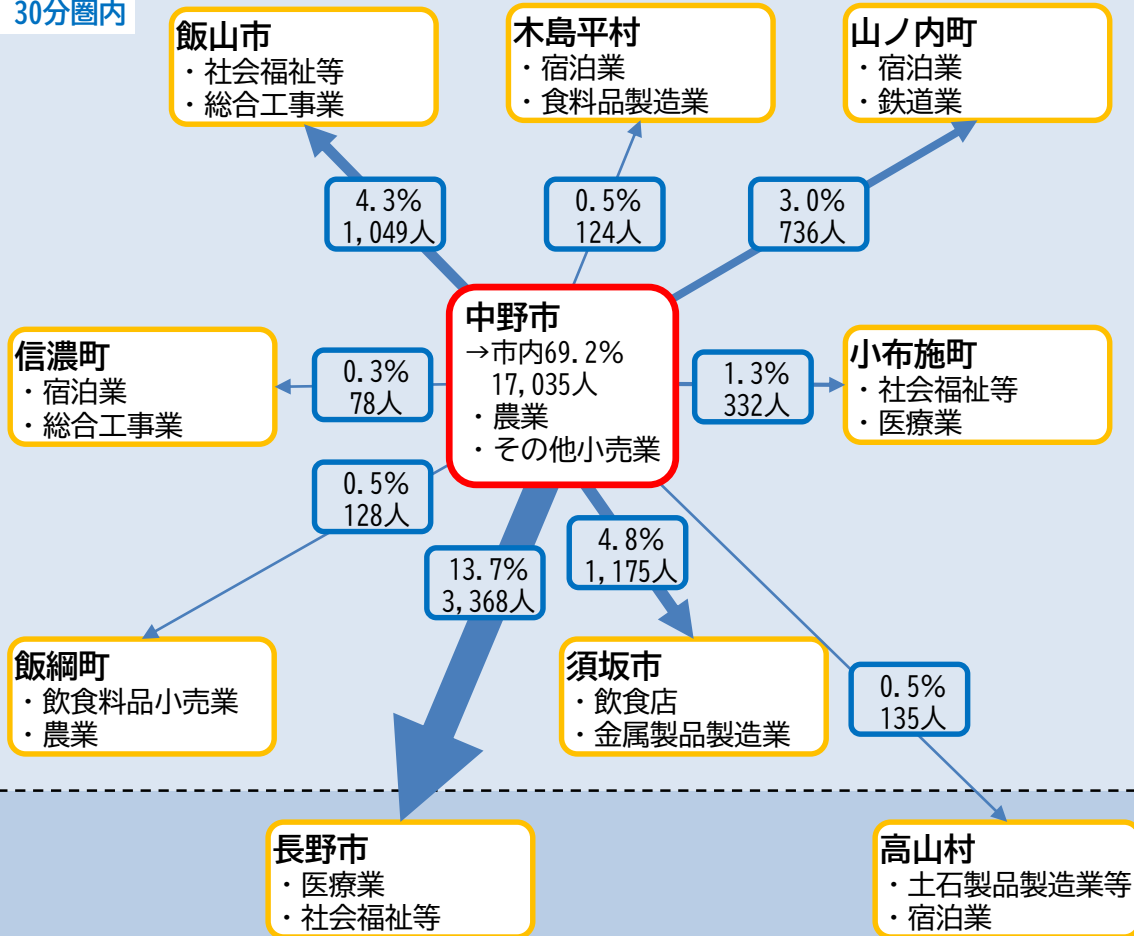
出典：国土数値情報「医療機関」（平成26年度）
「学校」（平成25年度）

魅力④ 市内、近隣自治体に働く場所がある

図表：中野市内に居住する就業者の動向

45分圏内
自治体名の下は、従業者数上位2位の産業
(企業単位・産業中分類)

30分圏内

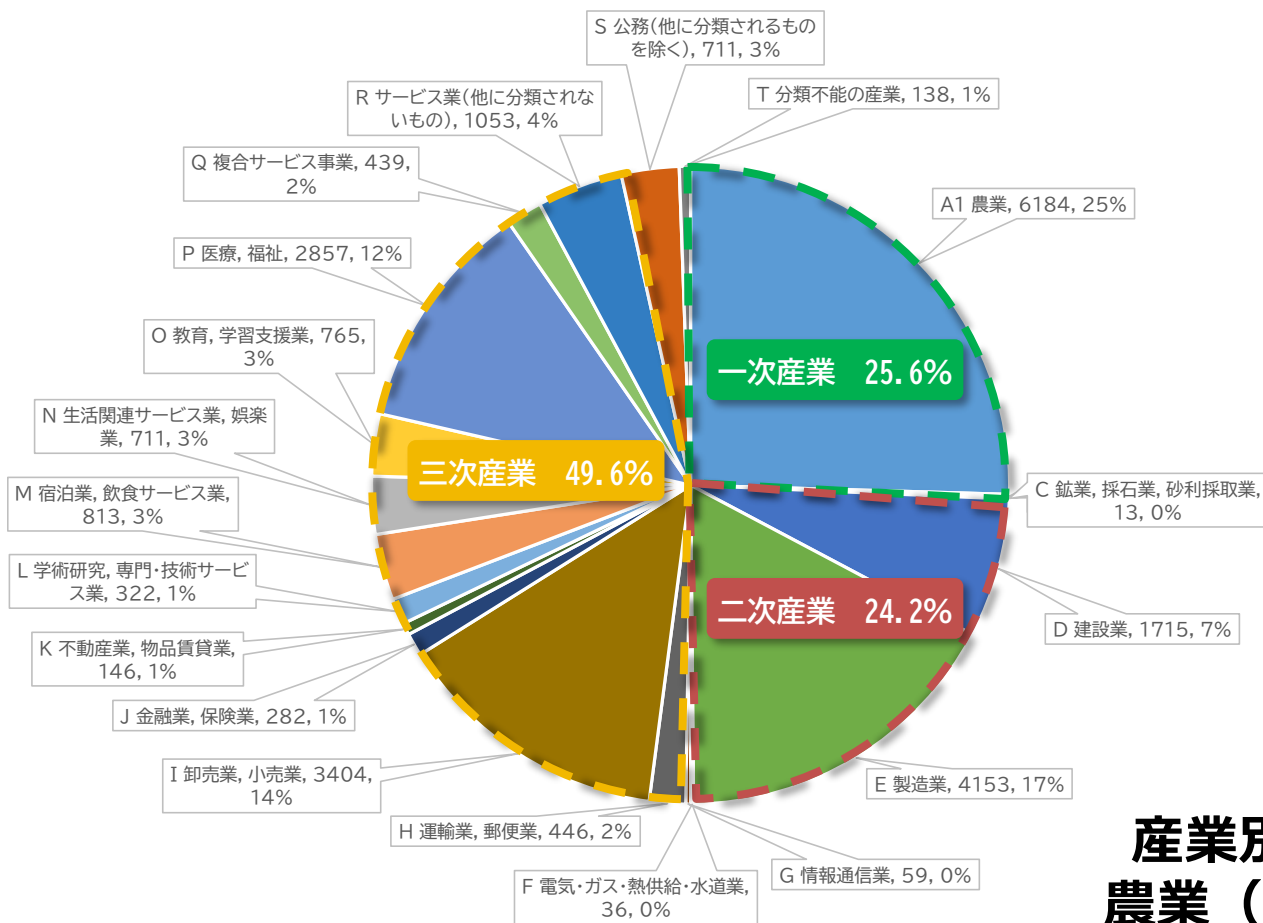


約70%が市内で就業しています。
近隣自治体には、多様な産業があり、多くの市民が通勤しています。

出典：総務省「平成27年国勢調査」
総務省「平成28年経済センサス」

魅力④ 市内、近隣自治体に働く場所がある

図表：中野市内の産業別就業者人口



産業分類	就業人口 (人)	就業人口割合
A 農業	6,184	25.5%
A2 林業	44	0.2%
B 漁業	0	0.0%
C 鉱業, 採石業, 砂利採取業	13	0.1%
D 建設業	1,715	7.1%
E 製造業	4,153	17.1%
F 電気・ガス・熱供給・水道業	36	0.1%
G 情報通信業	59	0.2%
H 運輸業, 郵便業	446	1.8%
I 卸売業, 小売業	3,404	14.0%
J 金融業, 保険業	282	1.2%
K 不動産業, 物品賃貸業	146	0.6%
L 学術研究, 専門・技術サービス業	322	1.3%
M 宿泊業, 飲食サービス業	813	3.3%
N 生活関連サービス業, 娯楽業	711	2.9%
O 教育, 学習支援業	765	3.1%
P 医療, 福祉	2,857	11.8%
Q 複合サービス事業	439	1.8%
R サービス業(他に分類されないもの)	1,053	4.3%
S 公務(他に分類されるものを除く)	711	2.9%
T 分類不能の産業	138	0.6%
合計	24,291	100.0%

産業別就業者人口（大分類）をみると、農業（6,184人）が最も多く、次いで、製造業（4,153人）、卸売業・小売業（3,404人）となっています。

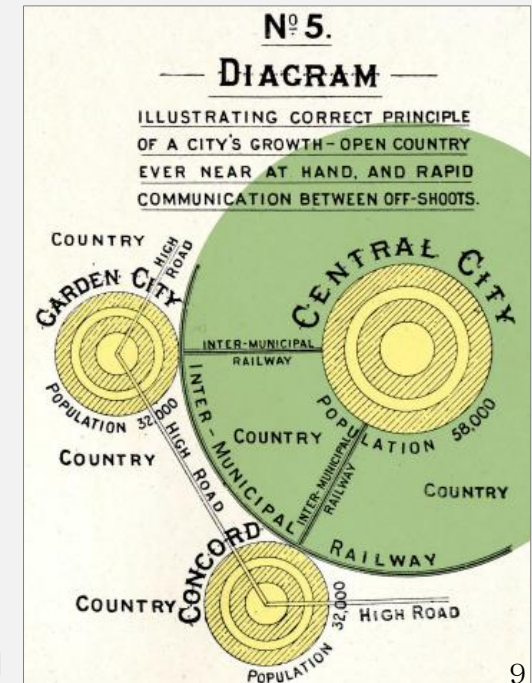
出典：総務省「平成27年国勢調査」

中野市の魅力

- 魅力① 水や緑などの自然に囲まれた住環境
- 魅力② 北信地区2番目の商圏人口の大きさ
- 魅力③ 充実した生活のための都市機能
近隣市町村の高度な都市機能を活用できる
- 魅力④ 市内、近隣自治体に働く場所がある

中野市は、適度な人口と都市機能が集積しており、郊外には農村風景が広がっている。また、個性豊かな自治体と隣接しており、高度な都市機能や雇用の場の恩恵を享受できる。

都市の社会・経済的利点と農村の優れた生活環境を融合した「田園都市」と捉えることができる魅力的なまちである。

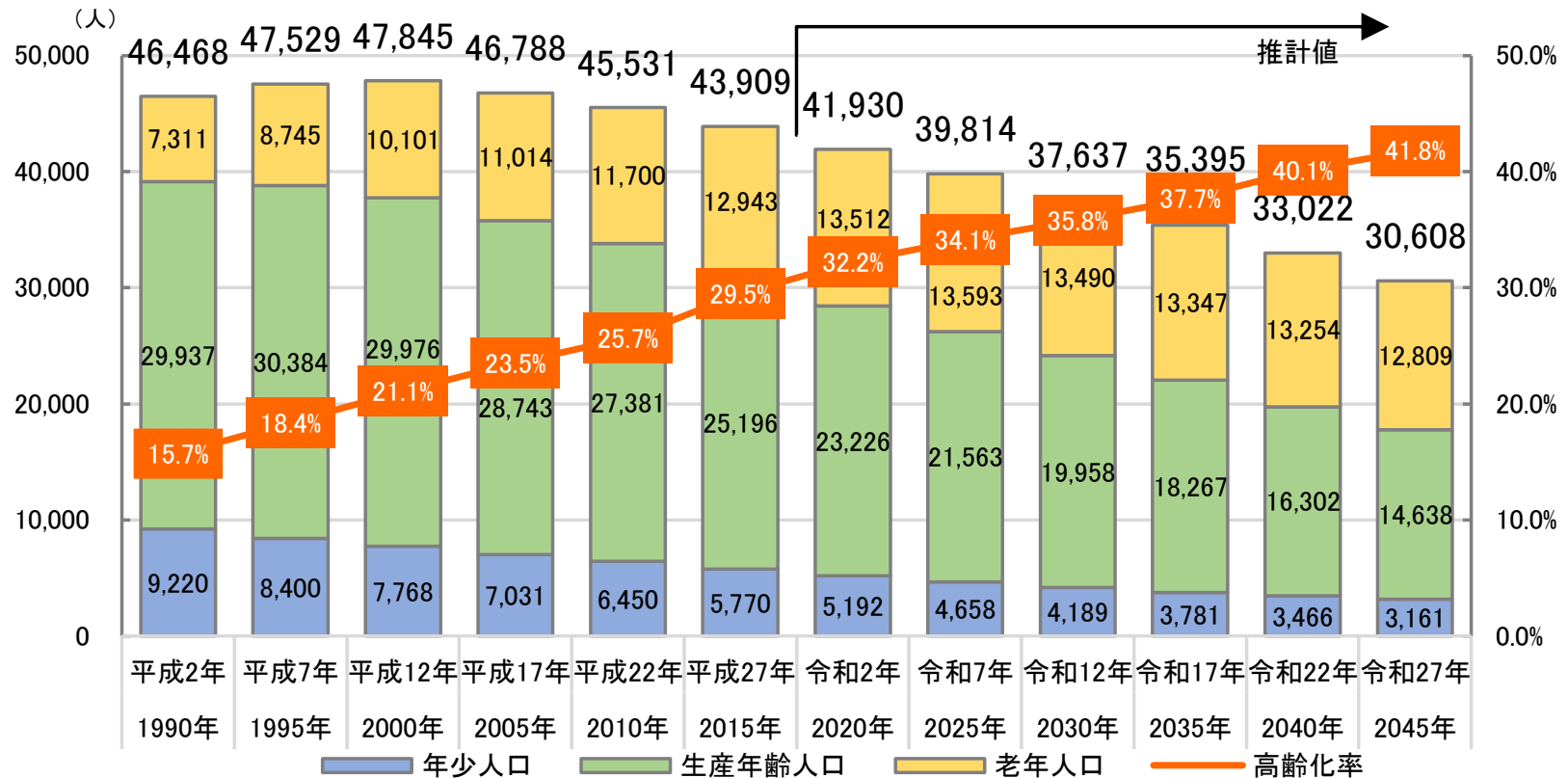


住環境が評価されている中野市ですが、
今のままでは、**魅力**が失われてしまう可能性があります



不安要素① 人口減少、少子高齢化が進んでいる

図表：年齢3区分別人口と高齢化率の推移



出典：1990年～2015年 総務省「国勢調査」

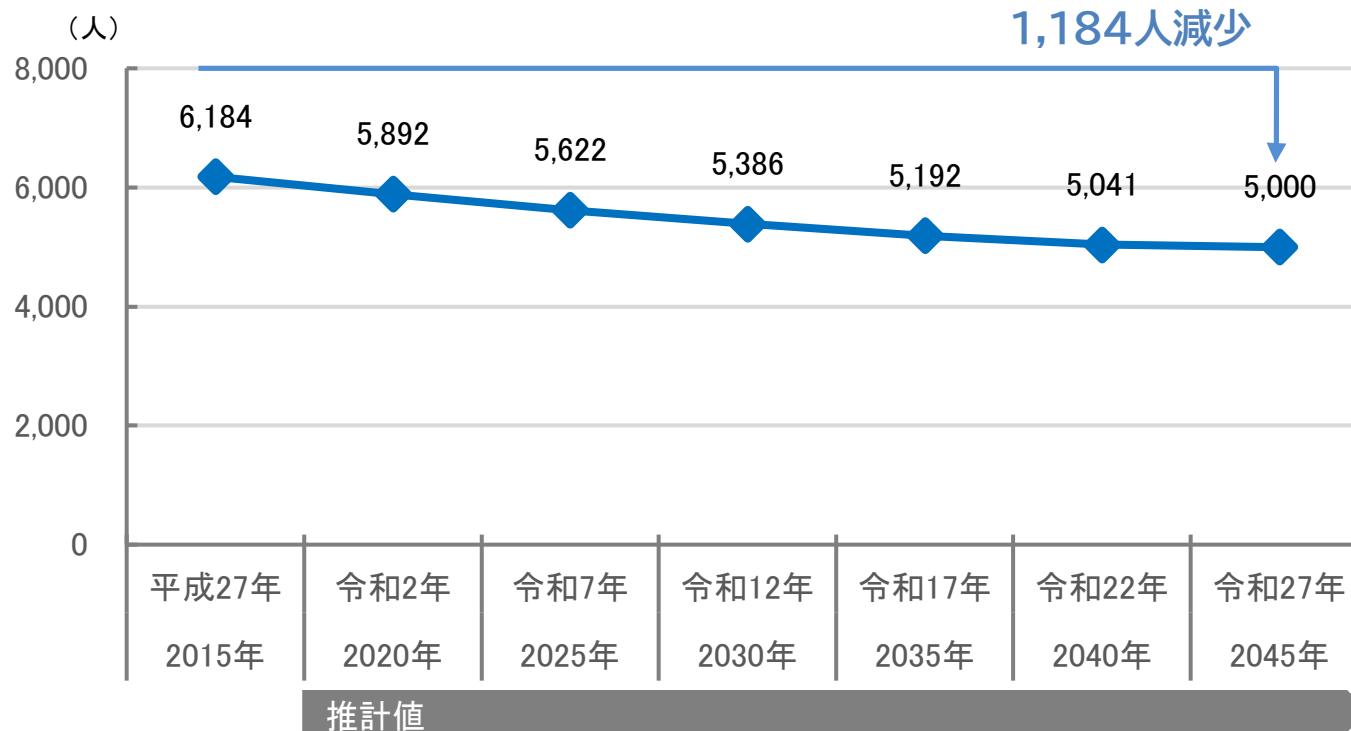
2020年以降 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」

国立社会保障・人口問題研究所の推計によれば、2015年から2045年までの30年間に、人口は13,301人減少し、高齢化率は41.8%に達すると見込まれます。

不安要素② 農業の担い手が減る

→水や緑に囲まれた環境が荒れてしまう可能性がある

図表：就業人口「農業」の推計



出典：未来カルテ2050（千葉大学倉坂研究所）

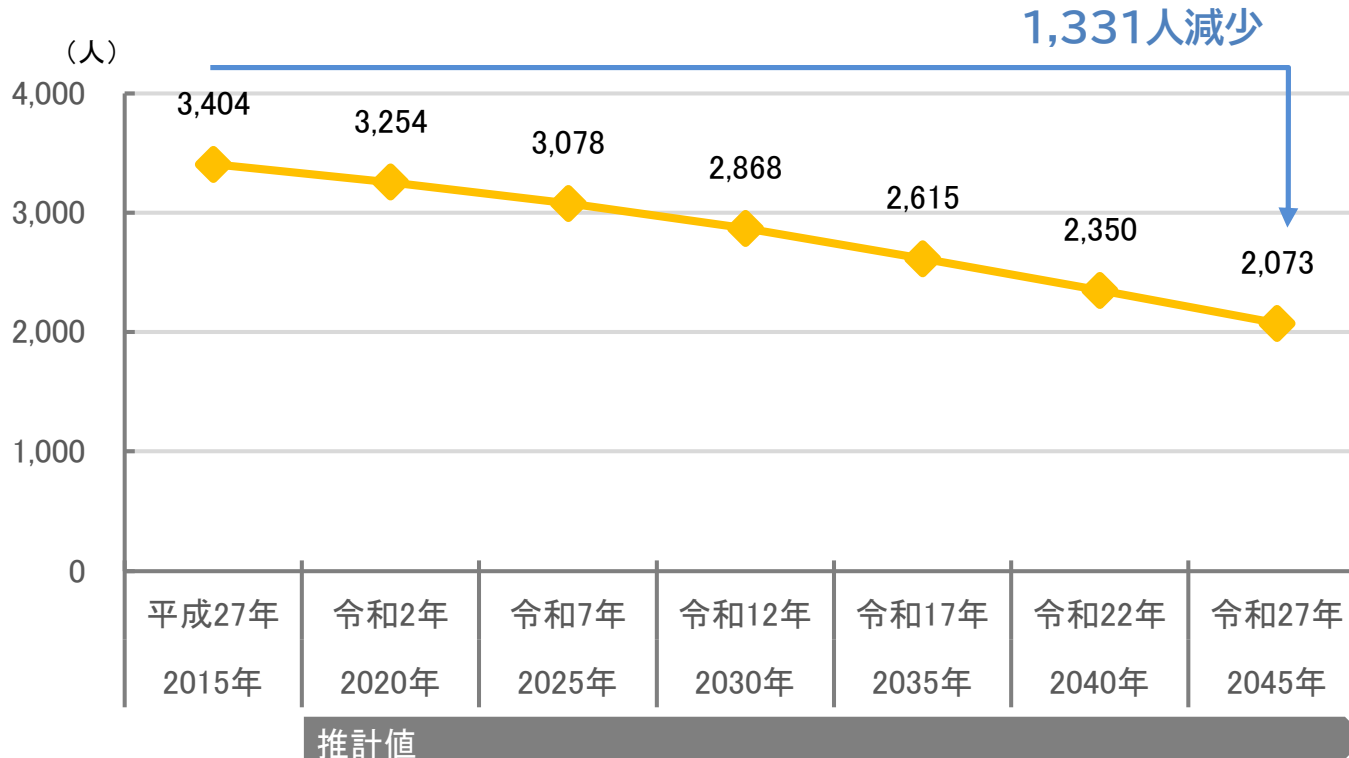
※国勢調査と国立社会保障・人口問題研究所の推計データを基に算出

未来カルテ2050によれば、豊かな農村風景を生み出している農業の担い手は、2015年から2045年までの30年間に1,184人減少する見込みです。

不安要素③ 商業の担い手が減る

→商品販売額が減り、地域経済が縮小してしまう可能性がある

図表：就業人口「卸売業、小売業」の推計



出典：未来カルテ2050（千葉大学倉坂研究所）

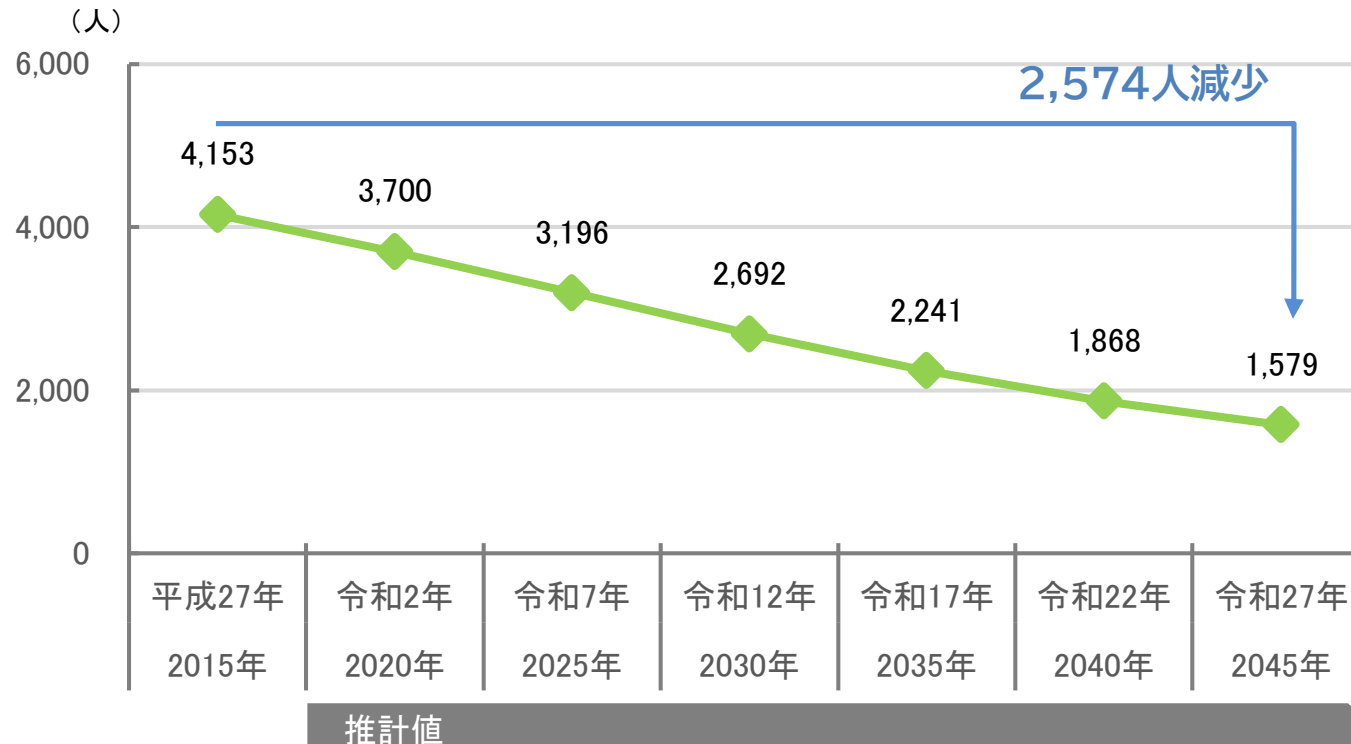
※国勢調査と国立社会保障・人口問題研究所の推計データを基に算出

未来カルテ2050によれば、北信地区2番目の商圈を支えている商業の担い手は、2015年から2045年までの30年間に1,331人減少する見込みです。

不安要素④ 製造業の担い手が減る

→生産規模が維持できず、雇用がさらに減少してしまう可能性がある

図表：就業人口「製造業」の推計



出典：未来カルテ2050（千葉大学倉坂研究所）

※国勢調査と国立社会保障・人口問題研究所の推計データを基に算出

未来カルテ2050によれば、市内産業で就業者が最も多い製造業の担い手は、2015年から2045年までの30年間に2,574人減少する見込みです。

・中野市の**魅力**（都市の社会・経済的利点と農村の優れた生活環境が融合された住環境）は、
市民の日々の活動によって創り出されている

→市の総合計画が見直しの時期を迎えているものの、
行政がやることだけに着目しても魅力は守れない

そのため、市民と行政が連携しながら、
中野市の魅力を活かし、維持していくことが重要になる